

## 4 検討事項 (2) 令和4年度アンケートの実施について

### 2 中学生向けアンケート

備考

(1) あなたの所属を教えてください。

ア 学校名	
イ 学年	

(2) 学校で、次のアプリ(ソフト)をどのくらい使用していますか。 ほぼ毎日 週に3~4回 週に1~2回 ほぼ使わない 使っていない 学校でのITリテラシー活用頻度の把握のための設問

	ほぼ毎日 3~4回	週に 1~2回	ほぼ 使わない	使って いない	
ア ドリルパーク					
イ オクリンク					
ウ ムーブノート					
エ <b>ジャムボード</b>					R4前期追加予定
オ インターネットでの検索・調べ物など					
カ 画像や動画の撮影アプリ(カメラ含む)					
キ NHK for Schoolの動画視聴					
ク キーボードの活用					

(3) 学校でのタブレット活用でよいと思うことはなんですか。 とても思う そう思う あまり思わない 全く思わない 使っていない 児童生徒が授業等でのICTの効果をどのように捉えているか把握するための設問

	とても 思う	そう 思う	あまり 思わない	全く 思わない	使って いない	
ア ドリルパークなどを使うと、自分のやりたい内容やペースで学習ができる。						基本方針A導入期②、C③
イ オクリンクやムーブノート、ジャムボードなどを使うと、友達の考えがよく分かって自分の考えも深まる。						基本方針A充実期① R4前期文言追加予定
ウ 分からないことも、インターネットで検索してすぐに調べられる。						
エ 道徳や学活などの学習の中で、タブレットの上手な使い方やルールが分かるようになる。						基本方針B充実期②
オ 必要な時に、写真やビデオを撮影して保存しておいたり、後で見直したりできる。						基本方針A導入期①
カ タブレットを使うと、お絵描きや演奏・曲づくりなどを楽しく行うことができる。						基本方針A発展期①B発展期②
キ 学習プリントや資料、ワークシートなどをデジタルデータでもらったり提出したりできる。						基本方針A導入期①
ク ビデオ会議を使えば、学校以外の人のいろいろな話を聞くことができる。						基本方針A充実期②発展期①
ケ 授業の中でプログラミングを行うことで、かんたんなプログラミングのしくみが分かる。						基本方針B充実期②

(4) 家で、次のアプリ(ソフト)をどのくらい使用していますか。 ほぼ毎日 週に3~4回 週に1~2回 ほぼ使わない 使っていない 家庭でのアプリ等活用頻度の把握のための設問

	ほぼ毎日 3~4回	週に 1~2回	週に 1~2回	ほぼ 使わない	使って いない			
ア ドリルパーク						基本方針C①との関連		
イ オクリンク								
ウ ムーブノート								
エ <b>ジャムボード</b>						R4前期追加予定		
オ インターネットでの検索・調べ物など								
カ 画像や動画の撮影アプリ(カメラ含む)								
キ NHK for Schoolの動画視聴								
ク YouTubeやYouTube Kidsなどの動画視聴								
ケ 平日、家でタブレットをどのくらいの時間使っていますか。	0-1 時間	1-2 時間	2-3 時間	3-4 時間	4時間以上			
コ 休日、家でタブレットをどのくらいの時間使っていますか。	0-1 時間	1-2 時間	2-3 時間	3-4 時間	4-5 時間	5-6 時間	6-7 時間	7時間 以上

(5) 家でのタブレット活用でよいと思うことはどんなことですか。 とても思う そう思う あまり思わない 全く思わない 使っていない 家庭での活用促進に向けた状況把握のための設問

	とても 思う	そう 思う	あまり 思わない	全く 思わない	使って いない	
ア ドリルパークを使って宿題をすれば、授業で習ったことの復習がよくなる。						基本方針C導入期①
イ ドリルパークやオクリンク・ムーブノートを使った宿題には、今までの宿題よりしっかりと取り組める。						基本方針C導入期①
ウ ドリルパークなどを使って、自分のやりたい内容の自主勉強がしやすい。						基本方針C導入期①発展期①
エ タブレットを使った作品作り(お絵描きや演奏・曲づくり、プログラミングなど)が楽しい。						基本方針A発展期①、B発展期②
オ ドリルパークについて当てはまると思うものを全て選んでください。						
問題が多すぎる						
問題が少なすぎる						
簡単な基本問題が多いので、難しい応用問題がもっとあるとよい						
難しい応用問題が多いので、簡単な基本問題がもっとあるとよい						
長文問題や記述式問題など、思考力が必要な問題がもっとあるとよい						
一問一答式ではなく、大問の中にいくつか問題があるような出題形式がもっとあるとよい						
漢字練習でよく使っている						
宿題として出されることが多い						
朝学習で使用することが多い						